

8 . 第 19 回 ボウリング競技実施要項

1.競技種目

団体戦:男子団体・女子団体

個人戦:男子個人・女子個人

2.競技規定

大会開催年度の JBC(財団法人全日本ボウリング協会)規則を準用する。また、本大会申し合わせ事項による。

予選、決勝ともアメリカン方式で行う。

3 . 出場資格

個人戦は、人数制限を設けない。

団体戦は、加盟団体毎に男女別 1 チームとする。

4 . チームの編成

男子団体は 1 チーム 4 名、女子団体は 1 チーム 3 名とする。

団体戦で自チームが定員に満たない場合、当該ブロックの加盟団体から男子は 2 名まで、女子は 1 名まで補充できる。

5 . 競技方法

団体戦

男子の部 4 人×6 ゲームとし、計 24 ゲームのトータルピンにより順位を定める。

女子の部 3 人×6 ゲームとし、計 18 ゲームのトータルピンにより順位を定める。

個人戦

男子の部 予選 6 ゲームとし、そのトータルで上位 24 名が決勝へ進出する。決勝は 3 ゲームを行い、9 ゲームトータルにて順位を決定する。

女子の部 予選 6 ゲームとし、そのトータルで上位 12 名が決勝へ進出する。決勝は 3 ゲームを行い、9 ゲームトータルにて順位を決定する。

6 . 表彰

各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。

HG 賞、HS 賞は個人戦予選を対象とする。

7 . スタート、ゲームセットについて

スタートの合図時に遅刻した場合は失格とする。

スタートの合図は緑色、ゲームセットは赤色の旗を用いる。

8 . スコアの確認

各ゲームのスコアをスコアカードに記載し提出する際、次のことに注意すること。

選手自身がサインしなければならない。

スコアの誤記、誤算が発見された場合は、本人の確認サインがあっても本人を呼び出し、訂正の承認をとり確定する。但し、競技会の進行上、呼び出し後 5 分以上は待たず、本人の承認以前に記録委員長が確定することがある。

9. 使用ボールについて

ボールラックには使用ボール2個までとする。

ボールラックが狭い時は、ラックの下に置くこと。

参加選手はマイボールを使用すること。

ボールにテープ類の付着等、投球に有利な工作をした場合は失格とする。

競技中のボールの破損、損傷については主催者も会場責任者も責任を負わない。

10. タイスコア

予選、決勝において同順位が2名以上の場合は、シリーズのハイ・ロー差の少ない方、もしくはゲームのハイ・ロー差の少ないほうを上位とする。それでも決められないときは、プレーオフ9F・10Fを行う。

11. 競技服装等

ユニフォーム着用を義務とする。着用なしは失格とする。またスポーツにふさわしくない服装、ハチマキなどは認めない。

ユニフォームには都道府県名と名前を背部に、「氏」もしくは「氏名」(1文字5cm角位)を必ず記入すること。ガムテープ貼付等は失格となる。

団体戦の選手は、全員同じユニフォームを着用すること。

12. 競技中の禁止事項

(ボウラースベンチ内及びコンコース)

アプローチパウダーその他の物の使用、アプローチの状態の変更は禁止する。

応援者との雑談、他選手へのアドバイス(但し団体戦で自チーム内は可)、喫煙、飲食、補聴器装着や携帯電話の使用、出場選手と役員以外のボウラースベンチ内への立ち入り等は禁止する。

13. その他

メンバー及び投球順の変更は、所定用紙にて監督・主将等合同会議の前日までに提出すること。以降変更は出来ない。

レーン割当は大会参加申込締切日以降、実行委員会において抽選により行う。レーンの変更はマシントラブル以外には認められない。

ファールは次の投球者に移るまでとし、判定機故障により生じたと見られる場合は、競技委員が裁定する。

競技会場へのボールの搬送等に関しては、実行委員会の定めるとおりとする。

競技中トラブルが発生したときは、競技を一時中断し、競技委員の指示に従うこと

14. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会